

大子町男子HPV(ヒトパピローウイルス)ワクチン接種費助成事業

対象者

接種日現在、
・大子町に住民登録がある
小学6年生～高校1年生相当の男子

助成内容

- ・接種回数 3 回
- ・自己負担なし(全額公費負担)
※ 自費の場合、5～6万円(3回分)
- ・ワクチンの種類 4価ワクチン(ガーダシル)



HPV(ヒトパピローウイルス)とは

HPVは、主に性交渉によって生殖器やその周辺の粘膜にイボをつくるウイルスで、遺伝子型は150種類以上あります。

一般的には、女性がかかる子宮頸がんの原因として知られています。このため、予防接種法により、このウイルスの感染を防ぐためのワクチン接種が、小学6年生から高校1年生までの女性に対して無料で行われています。

HPVの感染は、女性だけでなく男性もかかる病気(肛門がんや陰茎がん、中咽頭がん、尖圭コンジローマなど)※の原因になります。

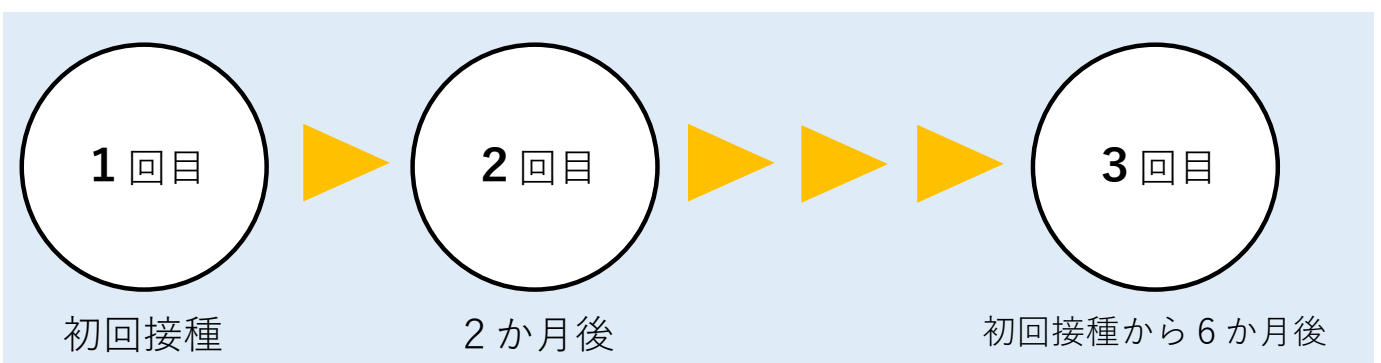
男性がHPVワクチンを接種する意義とは

- ・男性もかかるようながんや性感染症(※)を予防することができます。
- ・HPVは性交渉等を通じて、パートナーに感染させ、感染を繰り返すため、男女にワクチンを接種することで感染の広がりを抑えることができます。

接種できるワクチンとスケジュール

現在、HPVワクチンには2価・4価・9価の3種類ワクチンがありますが、男性が接種できるのは、4価ワクチン(ガーダシル)のみです。

4価HPVワクチンの接種スケジュールは、以下のとおりです。



(裏面につづく)

主な副反応は？

HPVワクチン接種後にみられる主な副反応として

- ・注射部位の痛み・赤み・腫れ（10%以上）
- ・注射部位のかゆみ・頭痛・発熱（1～10%未満）
- ・ごくまれに、めまいや手足の痛み、下痢、腹痛などが出る場合があります。

※接種後、数日間を過ぎても腫れや痛みなどの症状が続く場合は、接種医師に相談してください。

※予防接種により健康被害が発生した場合には「医薬品副作用被害救済制度」により治療費等が支給される場合があります。

助成を受けるためには

① 申請 交付

大子町役場健康増進課(大子町保健センター)の窓口で、
「任意予防接種申請書」を記入します。
「任意予防接種券」と「予診票」を交付します。
申請時には、母子健康手帳をご持参ください。

② 接種

事前に医療機関に予約をしたうえで接種してください。

【接種当日の持ち物】

交付を受けた接種券・予診票・母子健康手帳・健康保険証

【町外で接種する場合】

医療機関に接種費用を全額支払い、接種を受けた後、予診票の返戻を受けてください。

後日、予診票・領収書・印鑑及び通帳などを健康増進課に持参し、接種費用を請求してください。

※詳しい申請方法については、健康増進課までお問い合わせください。

問合せ先

〒319-3526 大子町大子1846番地

大子町役場健康増進課 ☎ 0295-72-6611